

海軍公報

(部内限) 第千四百九十七號

海軍大臣官房

昭和八年四月一日(主)

○令達

官房機密第六三七號

昭和八年四月一日

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿

練習艦配當ノ件中改正ノ件訓令

昭和七年官房機密第一六二三號ヲ以テ訓令ノ昭和八

(教育) 年度練習艦配當表ヲ別表ノ通改ム

(別表一葉添)

官房第一四二八號

昭和十三年官房機密第五九六號ニテ本表廢止

駐滿海軍部及臨時海軍防備隊ニ要スル特務士官、准士官、下士官及兵ハ吳鎮守府ヨリ之ヲ補充スベシ

昭和八年四月一日

海軍大臣

官房第一三九八號

昭和七年官房機密第七三三號ニテ本表廢止

駐滿海軍部及臨時海軍防備隊ニ要スル經費ハ海軍省經理局長ヲ支出官トシ駐滿海軍部主計長及臨時海軍防備隊主計長ヲ各資金前渡官吏トス

駐滿海軍部及臨時海軍防備隊ヨリ生ズル收入ハ海軍省經理局長ヲ歲入徵收官トシ海軍省經理局員ヲ收入官吏トス

昭和八年四月一日

海軍大臣

官房第一三九九號

昭和八年度北海方面艦艇派遣諸費ヲ以テ經費ヲ支辨スベキ艦艇左ノ通指定シ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和八年四月一日

海軍大臣

第四驅逐隊(羽風、秋風、太刀風、帆風)

海軍公報(部内限) 第千四百九十七號

昭和八年四月一日

一三五

0948

0199

○通牒

經豫第一四八號
官房第一三九九號昭和八年度北海方面艦艇派遣諸費支
辨艦艇ニ要スル經費ノ整理ハ昭和五年經豫第一八二號
ニ準ジ處理相成度
昭和八年四月一日
海軍省經理局長

○雜款

○郵便物發送先（二月二十五日本
欄行動豫定参照）
特務艦膠州宛
四月 七 日迄ニ到達見込ノモノハ 横 須 賀
九月 八 日迄ニ横濱局へ到達見込ノモノハ
横濱郵便局氣付
其ノ後ハ 横 須 賀

○學生入隊期日
不日任命セラルベキ當隊飛行學生ハ來四月七日始業ニ
付始業前身體検査實施ノ爲避クモ五日中迄ニ著任セシ
メラレ度
（霞ヶ浦海軍航空隊）

0949 0200

(部 内 限)

義第一〇九號ノ二通牒

昭和八年四月一日

財團法人海軍義濟會長 谷 口 尙 眞

海軍義濟會寄附行爲施行細則第二十一條ヲ左ノ如ク改

第二十一條 本會ノ會計ヲ左ノ通區分ス

一、離現役交付金會計

寄附行爲第三條第一號ノ規定ニ關スル收入支出

二、遺族義濟金會計

寄附行爲第三條第二號、第四號及第六號ノ規定

ニ關スル收入支出

三、弔祭料會計

寄附行爲第三條第三號ノ規定ニ關スル收入支出

四、御下賜金會計

寄附行爲第三條第五號ノ規定ニ關スル收入支出

五、寄附金會計

寄附金及之ニ關スル收入支出

本改正ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

信第一〇九號通牒

昭和八年四月一日

財團法人海軍信義會長 谷 口 尙 眞

海軍信義會寄附行爲施行細則第二章ニ左ノ一條ヲ加ヘ

「第十二條」ヲ「第十三條」トシ以下各條ヲ順次繰下グ

第十二條 本會ノ會計ヲ左ノ通區分ス

一、離現役交付金會計

寄附行爲第三條第一號ノ規定ニ關スル收入支出

二、遺族義濟金會計

寄附行爲第三條第二號、第三號及第四號ノ規定

ニ關スル收入支出

第五條中「第二十條」ヲ「第二十一條」ニ第七條中「第二

十七條」ヲ「第二十八條」ニ改ム

本改正ハ昭和八年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

0201

海軍砲術學校	海軍水雷學校	海軍通信學校	海軍工機學校	横須賀海軍航空隊	運用術練習艦	海軍潜水學校
		比叡	木曾	第一驅逐隊	春日 富士	鬼怒 韓崎 第十五驅逐隊 第十四潜水隊 第十七潜水隊
				第十驅逐隊		
				第九潜水隊		
				第一掃海隊		

昭和八(教育)年度練習艦配當表

(昭和八年四月一日公報(部内限)別表)

0951

0202

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千四百九十九號

海軍大臣官房

昭和八年四月五日(水)

令 達

官房第一三八五號

駐滿海軍部及臨時海軍防備隊ニ要スル兵備品ハ吳鎮守府所管兵備品會計官吏之ヲ供給スルモノトス
昭和七年官房第二五六五號ハ之ヲ廢止ス

昭和八年四月一日

海軍大臣

通 牒

經豫第一六七號

昭和八年三月三十一日

海軍省經理局長

各支出官殿

外國送金ニ關スル件通牒

昭和八年度外國送金ハ外貨ヲ以テ契約セル外國人傭入

雜 款

ニ伴フ給料報酬金旅費、家屋借料並ニ國際條約ニ依ル義務費ノ類ニシテ大藏省ト協定濟ノ分ノミ純分比價ニ依リ其ノ他ハ凡テ大藏省ニ於テ定ムル換算率ニ依ルコトトシ該換算率ト實際送金時ニ於ケル爲替相場トノ差額ハ一般會計ニ在リテハ大藏省ニ於テ整理シ特別會計ニ在リテハ日本銀行ヨリノ通知ニ基キ各支出官ニ於テ新ニ設置セラレタル各相當科目ヲ以テ整理スルコトト御了知相成度
尙右純分比價送金ヲ爲サムトスルトキハ其ノ都度事前協議相成度

○郵便物發送先變更 (三月三日) 本欄参照
特務艦鳴戸宛

四月十五日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世 保 其ノ後ハ 第二艦隊司令部ニ同ジ

海軍公報(部内限) 第千四百九十九號 昭和八年四月五日

一三九

0953

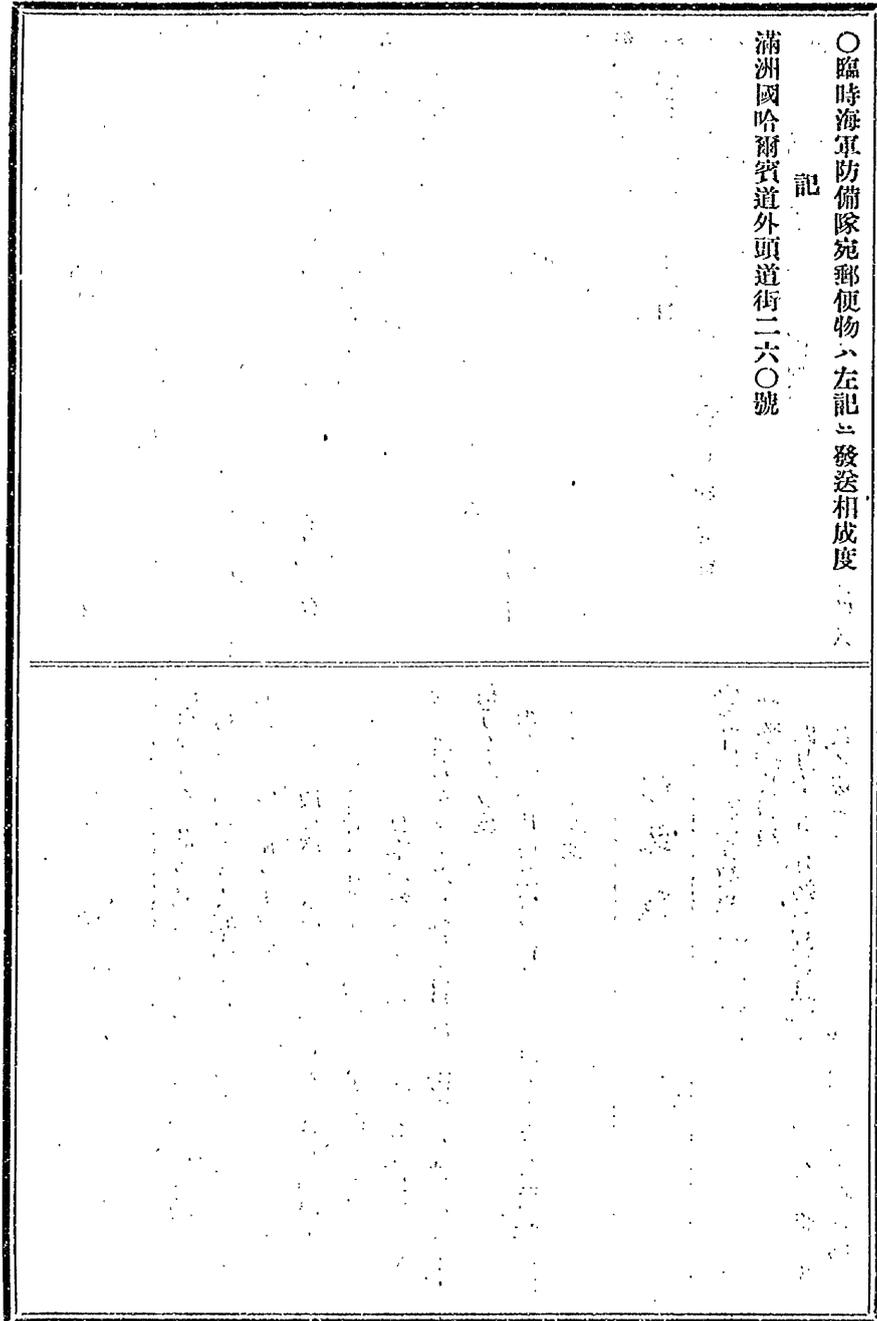
0204

海軍公報(部内限) 第千四百九十九號 昭和八年四月五日

一四〇

○臨時海軍防備隊宛郵便物ハ左記ニ發送相成度

記
滿洲國哈爾濱道外頭道街二六〇號



0954 0205

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第千五百號

海軍大臣官房

昭和八年四月六日(木)

○ 令 達

官房第一四六八號

達第三十四號ヲ以テ艦營需品定額表中改正セル各長主管ノ品名ニ對スル定數ハ左記ニ依ル義ト心得ベシ

昭和八年四月六日

海軍大臣

記

甲板洗桶 甲、乙 從來ノ甲板洗桶ノ定數トス

足場板 甲大、小 從來ノ足場板甲ノ定數トス

釣瓶 乙、丙 從來ノ釣瓶木製ノ定數トス

六子撚麻小綱

三子撚麻小綱

二子撚麻小綱

マニラ小綱

棉腕木

櫓入子

從來ノシツキスレット
ネツツルスタフ
ノ定數トス
スバヌヤーン

從來ノ消耗品第十一類ニ設定シアリタル定數トス

同 右

銹止塗具

同 甲 從來ノ銹止塗具ノ定數トス

同 乙 從來ノ銹止塗具ノ定數トス

同 丙 從來ノ銹止塗具ノ定數トス

同 丁 從來ノ銹止塗具ノ定數トス

塗刷毛 甲 從來ノ塗筆ノ定數トス

同 乙 從來ノ塗刷毛ノ定數トス

鋼線刷毛 從來ノ備品第一類ニ設定シアリタル定數トス

○ 通 牒

經豫第一七〇號

昭和八年四月五日

海軍省經理局長

各支出官殿

外國貨幣換算價格ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ左記ノ通大藏次官ヨリ通牒有之候

追テ右換算價格ハ本年三月三十一日經豫第一六七號

海軍公報(部内限) 第千五百號 昭和八年四月六日

一四一

0955

0206

通牒ノ純分比價ニ依ル送金以外ニハ適用無之爲念

（會計法規類集上卷三五〇ノ三頁参照）

記

藏理第三六五號

昭和八年三月三十日

大藏次官 黒田 英雄

海軍次官 藤田尙徳殿

支出官事務規程第二十條ノ規定ニ依ル金貨國貨幣以外ノ外國貨幣換算價格昭和八年度分左記ノ通り定メラレ候ニ付此段依命及通知候也

尙外國貨幣換算價格別表ノ一、金貨ノ部ヨリ墨西哥ノ分削除相成度

記

外國貨幣換算率表ノ二（銀貨及紙幣ノ部）

國名	貨幣ノ名稱	單位	換算價格
中華民國	兩（上海） 弗（墨銀）	—	一兩〇三七 一弗〇七四一
伯刺西爾	（ミル）レイス	—	〇二五一
亞爾然丁	紙幣ベソ	—	〇八五二
墨西哥	ペソ	—	〇九五一

○辭令

海軍軍令部出仕海軍大尉 中島 湊
第三班勤務ヲ命ス（海軍軍令部）

事變關係製圖事務囑託ヲ解ク（海軍水路部）
木島 武雄

○雜款

○特務艦膠州行動豫定變更（三月二十五日）
（本欄参照）

地名	名	着	發
横須賀	羽見	四月十一日	四月八日
鳥島	見	四月十六日	四月十二日
二島	見	四月二十日	四月十六日
沖島	見	四月二十八日	四月二十三日
クツル	オ	五月二日	五月一日
クツル	オ	五月十三日	五月十二日
トコベ	イ	五月十八日	五月十四日
クツル	イ	五月二十七日	五月二十一日
ウツル	イ	五月三十日	五月二十八日
ヤツ	イ	六月三日	六月二日
バラ	オ	六月八日	六月六日

0956 0207

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第千五百一號

海軍大臣官房

昭和八年四月七日(金)

○ 令 達

官房第一五〇四號 昭和七年官房第一五〇四號ニテハ本令ニ依リテ廢止ス
 當分ノ間滿洲國ニ在勤スル海軍軍人軍屬ニハ海軍給與令、同施行細則又ハ雇員傭人給與規則ノ定ムル所ニ準ジ在勤加俸及増給ニ付テハ別表ニ依リ、宿舍手當、食料又ハ糧食、治療及埋葬ニ付テハ關東州在勤者ノ例ニ依リ取扱フベシ

附 則

本令ハ昭和八年四月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス
 昭和七年官房第一〇七九號 同第一〇八〇號 官房機密第六九九號 官房第二六三〇號ノ二及昭和八年官房第七四六號ハ本令適用ノ日ヨリ之ヲ廢止ス
 昭和八年四月六日

海 軍 大 臣

別表 (滿洲國在勤者ニ支給スル在勤加俸)

官 等	日 額	官 等	日 額
各科中將	七九〇	各科特務少尉	二二〇
各科少將	六八〇	候補生	一五〇
各科大佐	五六五	准士官	一八〇
各科中佐	四四〇	一等下士官	八五
各科少佐	三三〇	二等下士官	六〇
各科大尉	二三〇	三等下士官	五〇
各科中尉	二〇〇	一等兵	三五
各科少尉	一八〇	二等兵	三〇
各科特務大尉	二七〇	三等兵	二八
各科特務中尉	二三〇		

一 高等文官同待遇者ニ支給スル加俸ハ本俸ノ三割ニ

海軍公報 (部内限) 第千五百一號

昭和八年四月七日

一四三

0957

0208

<p>各三百六十圓ヲ加ヘタルモノヲ年額、判任文官間待遇者ニ支給スル加俸ハ本俸ノ四割ニ各十五圓ヲ加ヘタルモノヲ月額トス但シ高等文官間待遇者ニシテ俸給年額千六百五十圓ヲ受クル者ノ加俸ハ年額八百四十圓ヲ超ユルコトヲ得ズ</p> <p>一 雇員傭人ニハ各給料ノ六割ヲ増給ス</p> <p>一 本表ノ加俸並ニ増給ハ内地人以外ノ者ニ付之ヲ適用セズ</p>		<p>官房第一五〇五號</p> <p>昭和八年度歳出科目中左ノ通追加ス</p> <p>昭和八年四月七日</p>	<p>歳出臨時部</p> <p>海軍大臣</p>	<p>款</p> <p>項</p> <p>目</p> <p>解</p> <p>疏</p> <p>會計科目 電信略號</p>	<p>(營繕費)</p> <p>(新營費)</p> <p>(修繕費)</p>	<p>佐世保人事 部廳舎増築</p> <p>ナリ</p>
<p>○ 通牒</p> <p>人秘第三三號ノ二三</p> <p>昭和八年四月一日</p> <p>海軍省人事局長</p> <p>各廳長殿</p> <p>功績調査ニ關スル件通牒</p> <p>本年四月一日以後ノ今次事變ニ關スル功績調査ニ付テハ追テ示達セラルベキモ事務進捗上概ネ昭和七年十月十三日官房機密第一三五五號並ニ同日附入秘第三三號ノ四ニ準ジ關係書類ヲ整備シ置カレ度依命</p>		<p>○ 辭令</p> <p>海軍軍令部出仕海軍少佐 堀内 茂忠</p> <p>第三班勤務ヲ命ス(請旨海軍軍令部)</p>	<p>疾病院第十一 病舎及第十二 病舎便所模様 修繕</p> <p>ナム</p>			

0958 0209

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千五百二號

海軍大臣官房

昭和八年四月八日(土)

○ 令 達

官房第一五〇五號ノ二
昭和八年度歳出科目中左ノ通追加ス
昭和八年四月八日

海軍大臣

○ 通 牒

教育第五九號ノ九
昭和八年四月七日

海軍省教育局

關係各廳御中

無線電信遠距離受信檢定成績調査資料

ノ件通知

昭和八年四月第九回無線電信遠距離受信檢定信文送信
要目左ノ通

記

款	項	目	節	解	疏
滿洲事 件費	滿洲事 件費	雜給及 費	外宿手當		會計科目 電信略號
		造船造兵 及修理費	服裝手當		マエ
		造船費			マス

信文	東京海軍無線電信所	送信
番號	送信日時	速度(一分間)
一	四月六日	八五
三	午後一時	八五
同	一時十一分	
		信文修正

海軍公報(部内限) 第千五百二號

昭和八年四月八日

一四五

0959 0210

一七同 一時五十五分	一六同 一時五十二分	一五同 一時四十九分	一四同 一時四十六分	一三同 一時四十三分	一二同 一時四十分	一一同 一時三十七分	一〇同 一時三十四分	九同 一時三十一分	八同 一時二十九分	七同 一時二十六分	六同 一時二十三分	五同 一時十九分	四同 一時十四分
八五	八六	八七	八七	八六	八七	八七	八六	八五	八六	八七	八七	八六	八五
			本文四十五字目「シ」 「ソ」ト送信ス					本文八十一字目不正				本文十六字目「ソ」ヲ 「シ」ト送信	本文五十二字目不正
												考 備	
												一、天候曇 一、送信状態良好 一、タナニ取消	

0960

0211

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千五百三號

海軍大臣官房

昭和八年四月十日(月)

○ 雜 款

○ 懲 罰

懲罰言渡書

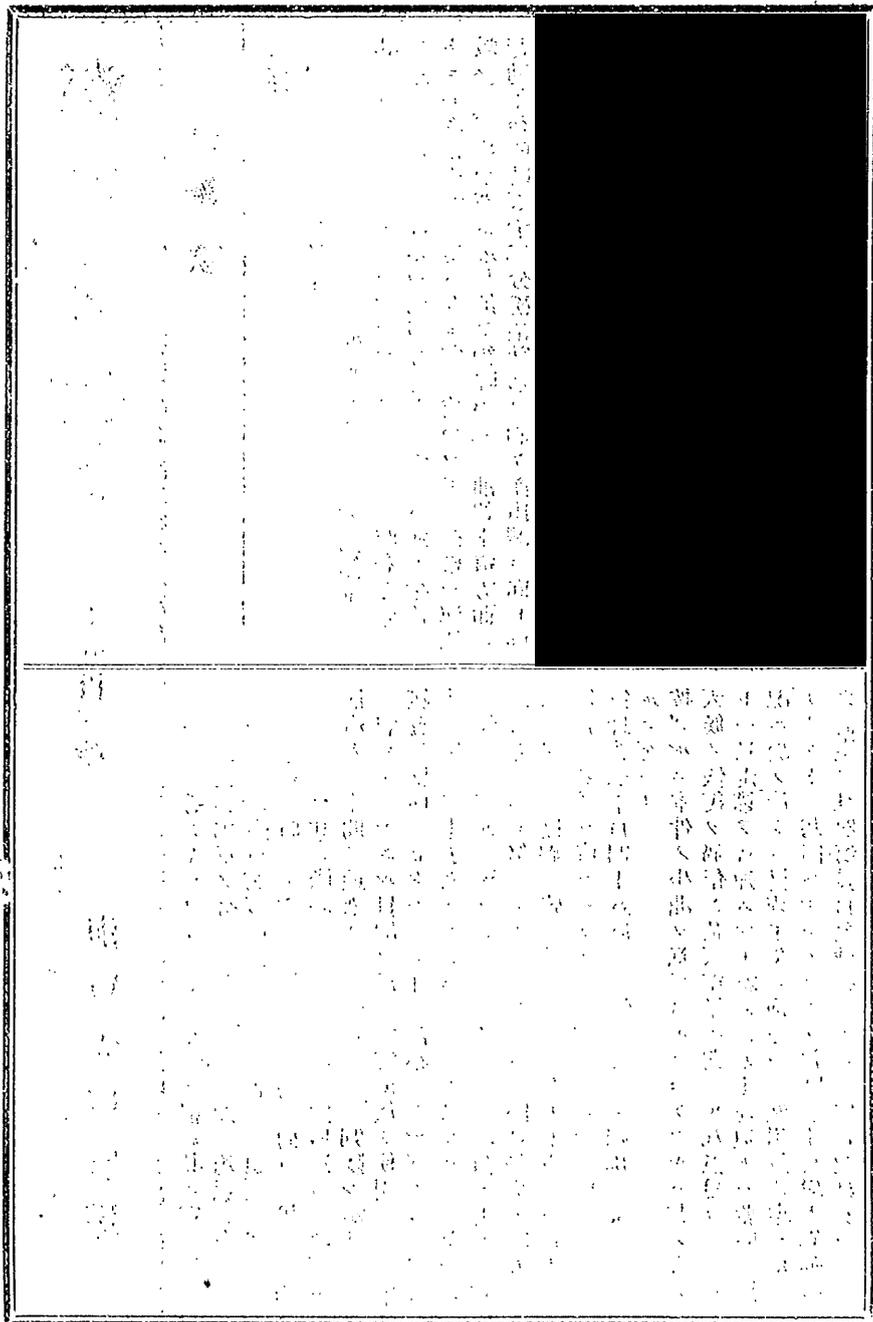
海軍公報(部内限) 第千五百三號

昭和八年四月十日

一四七

0961

0212



海軍公報(部内限) 第千五百三號 昭和八年四月十日

一四八

0962 0213

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第千五百四號

昭和八年四月十一日(火)
海軍大臣官房

○雜款

○特務艦隱戸行動豫定變更(三月三十日)

地名 着 發

吳	德	橫	南	橫	德	吳
山	須	方	須	山	山	山
	賀	諸	賀	賀	賀	賀
	山	島	島	島	島	島
	五月		四月		五月	
	二十九		九		二十九	
	日		日		日	
	六		十二		六	
	日		日		日	
	五月		四月		五月	
	一		十		一	
	日		四		日	
			日			

海軍公報(部内限) 第千五百四號 昭和八年四月十一日

一四九

0963 0214

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千五百五號

昭和八年四月十二日(水)
海軍大臣官房

○通牒

官房第一五九四號

昭和八年四月十二日

海軍省副官

各廳長殿

内地ヨリ揚子江流域方面へノ郵便物發送

取扱ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ第三艦隊副官ヨリ二月二十一日附
海軍公報 ~~第千五百五號~~ ニテ部内一般へ通牒有之候處内地
ヨリ發送スル書留郵便ニシテ右通牒ノ取扱ヲ爲サザル
爲中國郵便局ニテ開封セラレシ疑モ有之機密保持上遺
憾ノ點尠カラザルヤニ認メラレ候條通常郵便物及小包
郵便物ニシテ特ニ書留ノ特殊取扱ヲナス物ニ對シテモ
同通牒ヲ嚴守セシムル様一般ニ周知方御取計相成度
追テ揚子江方面各地駐在武官宛書類ハ第三艦隊司令
部氣付トセラルル様致度

海軍公報(部内限) 第千五百五號 昭和八年四月十二日

一五一

0964

0215

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千五百六號

海軍大臣官房

昭和八年四月十四日(金)

○令 達

官房第一六二六號

左記ニ依リ海軍經理學校ニ於テ臨時主計科士官講習ヲ施行ス

任務共ノ他ノ都合ニ依リ講習員ヲ派遣シ能ハザル場合ニハ其ノ旨所屬長官ヨリ報告スベシ

昭和八年四月十四日

海 軍 大 臣

記

一、講習科目

會計經理及豫算等ニ關スル諸科目

二、講習期間

昭和八年五月十六日ヨリ同二十五日迄

三、講習員

海軍主計少佐 前田 仁三郎

同 太田 黒三男

四、旅費

講習開始前日海軍經理學校ニ參集講習終了當日出發ノコトトシ請求ヲ俟テ別途配付ス

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
佐野川	山 川	佐 藤	有 田	安 島	古 河	川 村	大 和	同	同
要	廣 一	信 吉	友 和	二 郎	兼 義	久 三 郎	勉		

○通 牒

官房第一六二七號

昭和八年四月十四日

海 軍 省 副 官

關係各廳長殿

軍公報(部内限) 第千五百六號 昭和八年四月十四日

一五三

0965

0216

報國第二十六號及同第二十八號飛行機ノ

要目發表及寫眞撮影範圍ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ報國第二十六號飛行機ニツキテハ
同第二十號（富國號）飛行機又報國第二十八號飛行機
ニツキテハ同第二十一號（埼玉號）飛行機ニ關スルモ
ノト同一ノ義ト御了知相成度

（三月十日公報（部内限）所載官房第一〇二二號參照）

○雜款

○便乗者ニ關スル件照會

本艦今次戰技委員交通用兼通信艦トシテ左記ノ通行動
ノコトト相成候ニ就テハ準備ノ都合有之候條戰技委
員、視察、見學者等ニシテ便乗セラルル向ハ至急官氏
名便乗日時其ノ他必要事項御通報相成度

記

四月二十三日 中城灣發

同 二十五日 (早朝ノ豫定) 鹿兒島着

同 二十六日 (午前九時) 鹿兒島發

同 二十七日 (夜) 中城灣着

(特務艦 間宮)

○正誤

一昨十二日通牒欄官房第一五九四號中〔部内限〕ハ衍

0966 0217

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千五百七號

海軍大臣官房

昭和八年四月十五日(土)

○ 通 牒

軍務一第五一號

昭和八年四月十五日

海軍省軍務局長

駐滿海軍部司令官殿

駐滿海軍部司令官所掌軍政事項ニ關スル件申進

駐滿海軍部令第五條ノ規定ニ依ル軍政事項中ニハ左記事項ヲ含ムベキモノト御了知相成度爲念

記

滿洲國ニ於ケル海軍施設、港務、運輸、通信
海軍關係資源ノ調査、研究
滿洲國海軍ノ指導、教育、關係各部トノ連繫

○ 辭 令

中華民國へ出張ヲ命ス(海軍省)

海軍中佐 入船直三郎

軍公報(部内限) 第千五百七號

昭和八年四月十五日

一五五

0967 0218

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千五百八號

海軍大臣官房

昭和八年四月十七日(月)

○ 令 達

官房第一六七七號

昭和八年四月十七日

海 軍 大 臣

關係所屬長官殿

考課表調製ニ關スル件訓令

今次特別大演習ニ際シ演習部隊ニ臨時ニ補職セラレタ
ル場合考課表調製上之ヲ轉動ト看做ス義ト心得ベシ

海軍公報(部内限) 第千五百八號 昭和八年四月十七日

一五七

0968 0219

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第千五百九號

海軍大臣官房

昭和八年四月十八日 (火)

○ 令 達

官房第一三九六號

在外海軍部隊ニ要スル燃料ハ燃料經理規程第三十條ニ準ジ購入シ得ル義ト心得ベシ

昭和八年四月一日

海軍大臣

官房第一六二三號

昭和八年度滿洲事件費ヲ以テ經費ヲ支辨スベキ各部左ノ通指定シ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ適用ス
經費整理區分ハ海軍省經理局長ヲシテ通牒セシム

昭和八年四月十四日

海軍大臣

一、常時派遣艦船

安宅、宇治、隅田、伏見、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、浦風

記

平戸

第十六驅逐隊 (朝顔、芙蓉、刈萱)

五十鈴、嵯峨

第十三驅逐隊 (若竹、吳竹、早苗)

二、臨時派遣艦船

對馬、出雲、天龍

第二十四驅逐隊 (桃、柳、櫻、檜)

第二十七驅逐隊 (菱、菫、葎)

淀、神威、間宮、能登呂、常磐、多摩

第十五驅逐隊 (萩、薄、藤、葛)

三、前二號以外ノ各廳

官房第一五〇五號ノ三

昭和八年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和八年四月十八日

海軍大臣

一 般 會 計

海軍公報 (部内限) 第千五百九號 昭和八年四月十八日

一五九

0969

0220

款	項	目	節	解 疏	會計科目 電信略號
臨時部					
水陸整費	工務費	舞鶴要港部 工務部設備費			レヌ
震災復舊費	官衙學校其他建造物復舊費	建築費	東京方面 建築費		ウリ
海軍燃料費	事業費	受託研究費			
		備給			モト
		雜件費			モチ

○ 通 牒

軍需燃第七六號
昭和八年四月一日
海軍省軍需局長

第一、第二遣外艦隊司令官 殿
佐世 保鎮守府參謀長 殿
陸戰隊用燃料ニ關スル件通知
首題燃料ノ取扱ニ關シ昭和三年軍需燃第八七號ヲ以テ
通牒致シ置候處本年官房第一三九六號ニ依リ右ハ自然
消滅ノコトト御承知相成度 (海)

經豫第二一九號
本日官房第一六二三號ニ依リ昭和八年度滿洲事件費ヲ
以テ經費ヲ支辨スベキ各部指定相成候ニ就テハ之ガ經
費ハ左記區分ニ依リ處理相成度
昭和八年四月十四日
海軍省經理局長

記
昭和八年度滿洲事件費整理區分
一、滿洲事件費支辨ノコトニ指定セラレタル各部ニ於
テ滿洲國竝ニ中華民國方面艦船等派遣及其ノ他ニ
關シ要スル經費中次號ニ掲グルモノハ滿洲事件費
支辨トシ其ノ他ハ經常費支辨トス

0970 0221

二、滿洲事件費支辨ノ經費ハ左ノ區分ニ依ル

イ、俸給

- (一) 特命ニ依ル士官、特務士官、准士官、下士官、兵及文官ノ俸給、駐在員加俸並ニ特別加俸
- (二) 服役延期者タル下士官及兵ノ俸給、在勤加俸、航海加俸、航空加俸並ニ特別加俸
- (三) 神威臨時増置員ニ要スル俸給、航海加俸、航空加俸及特別加俸
- (四) 駐滿海軍部及臨時海軍防備隊在勤者ニ要スル在勤加俸
- (五) 海軍軍用郵便所通信吏員ノ俸給及航海加俸
- (六) 第三艦隊司令部附(臨時増置員ヲ含ム)、第二遣外艦隊司令部附(同上)、上海及漢口特別陸戰隊員タル臨時増置員及臨時派遣艦船乗員ノ航海加俸並ニ航空加俸
- (七) 昭和二年勅令第三十二號ニ依ル臨時増俸及昭和六年勅令第二百九十九號ニ依ル戰時増俸

ロ、應費

- (一) 特命ニ依ル通信費、備品費、圖書及印刷費、筆紙墨文具、消耗品、運搬費
- ハ、雜給及雜費

特別陸戰隊員

- (一) 上海及漢口特別陸戰隊員タル臨時増置員ノ赴任旅費並ニ轉勤轉乘旅費

- (二) 第三艦隊及第二遣外艦隊各艦船ヘノ赴任旅費及轉勤轉乘旅費並ニ同上各艦船ヨリノ赴任旅費及轉勤轉乘旅費
- (三) 駐滿海軍部及臨時海軍防備隊ヘノ赴任旅費及轉勤轉乘旅費並ニ同上ヨリノ赴任旅費及轉勤轉乘旅費
- (四) 特命ニ依ル赴任旅費、轉勤轉乘旅費及出張旅費
- (五) 海軍軍用郵便所通信吏員ニ要スル旅費
- (六) 服役延期者タル下士官及兵ノ旅費、勞働手當及外宿手當
- (七) 臨時使用スル囑託員、雇員及傭人ノ報酬金、給料及特ニ要スル給與等
- (八) 昭和二年勅令第三十二號ニ依ル臨時増給及昭和六年勅令第二百九十九號ニ依ル戰時増給(艦營費支辨以外ノ分)
- 九) 服役延期者ニ要スル武裝手當
- 十) 特ニ要スル雜費及手當金等
- 十一) 明治二十七年勅令第三百三十六號ニ依ル派遣手當
- 十二) 明治三十八年勅令第七十九號ニ依ル手當金

海軍公報(部内限) 第千五百九號 昭和八年四月十八日

- (三) 明治二十七年勅令第三百三十六號ニ依ル服裝手當、衣糧費
- (一) 特命ニ依ル糧食費、被服費及雜費
- (二) 明治二十七年勅令第三百三十六號ニ依ル食料
- (三) 服役延期者タル下士官及兵ノ食料
- (四) 海軍軍用郵便所通信吏員ノ食料
- ホ、造船造兵及修理費
- (一) 特命ニ依ル艦船及兵器ノ臨時造修費、機械費、保管運搬費並ニ雜費
- イ、患者費
 - (一) 臨時派遣艦船、上海及漢口特別陸戰隊ニ於テ要スル療用品費、藥劑費、傳染病豫防及消毒諸費、依託患者費、雜費
 - (二) 戰傷病者治療ニ要スル療用品費、藥劑費、病室諸費、傳染病豫防及消毒諸費、雜費
 - (三) 服役延期者タル下士官及兵ニ要スル療用品費、藥劑費、病室諸費、傳染病豫防及消毒諸費、依託患者費、雜費
 - (四) 駐滿海軍部及臨時海軍防備隊ニ於テ要スル療用品費、藥劑費、病室諸費、傳染病豫防及消毒諸費、雜費

特別陸戰隊

- (五) 臨時使用スル傭人ノ給料及雜費
- (六) 特命ニ依ル療用品費、藥劑費、病室諸費、傳染病豫防及消毒諸費、依託患者費、雜費
- ト、艦營費
 - (一) 特命ニ依ル艦營需品、燃料、保管運搬費
 - (二) 第三艦隊司令部、第二遣外艦隊司令部及臨時派遣艦船ノ雇員、傭人ノ航海増給
 - (三) 駐滿海軍部及臨時海軍防備隊ノ雇員、傭人ノ給料並ニ航海増給
 - (四) 臨時使用スル囑託員、雇員及傭人ノ報酬金、給料並ニ航海増給
 - (五) 駐滿海軍部及臨時海軍防備隊ニ於テ要スル雜費
 - (六) 特ニ要スル雜費
 - (七) 昭和二年勅令第三十二號ニ依ル臨時増給及昭和六年勅令第二百九十九號ニ依ル戰時増給(何レモ基本給軍事費、艦營費、雜給及雜費及滿洲事件費、艦營費、雜給及雜費支辨ノ分)
 - チ、水路費
 - (一) 特命ニ依ル測量班員ノ旅費、備品費、運搬費及材料費
 - (二) 特ニ要スル圖誌製造用傭給、材料、備品、出版

0972

費、雜件費其ノ他特ニ増加スル雜費

リ、教育諸費

(一) 特ニ要スル分

ス、扶助金

(一) 服役延期者タル下士官及兵ノ家族ニ給スル分

ル、接待費

(一) 特ニ要スル分

ヲ、機密費

(一) 特ニ要スル分

ヲ、營繕費

(一) 特命ニ依ル建築費、作場費並ニ初度調辨費

カ、船舶費

(一) 特ニ備入ノ船舶借料

ヨ、戰時特別給與品費

(一) 大正七年勅令第三百九十五號ニ依リ給スル分

タ、武功調査費

(一) 滿洲事件ニ關スル功績調査等ノ爲要スル分

三、臨時派遣艦船ノ滿洲事件費支辨期間ハ就役命令受

領ノ日ヨリ任務終了本邦港灣ニ歸着ノ日迄トス

○雜款

○懲罰

懲罰言渡書

海軍公報(部内限) 第千五百九號 昭和八年四月十八日

一六三

0973

~~0974~~

○正誤

三月二十五日通牒欄官房第一二五四號ノ二別表講演官
 派遣區分表中舞鶴要港部ヨリノ講演官派遣地「島根縣」
 ハ「鳥取縣」ノ誤

0974 ~~0225~~

四同	一時十六分	七九	
五同	一時二十一分	七八	
六同	一時二十五分	七八	
七同	一時二十九分	七六	
八同	一時三十五分	七四	受附日時分一字目 「」不正
九同	一時三十九分	七八	
一〇同	一時四十三分	七七	
一一同	一時四十七分	七七	
一二同	一時五十一分	七九	
一三同	一時五十五分	七七	
一四同	一時五十九分	七七	本文八十六字目「メ」 不正
一五同	二時三分	七六	
一六同	二時七分	七六	本文六十八字目「ク」 「四」下送信ス
一七同	二時十分	七七	

備 考
 一、天候晴
 一、送信状態良好
 一、タナ三取消

○ 雜 款

○ 正 誤
 昨十八日通牒欄經豫第二九號二、ト、艦營費(三)中
 「航海増給」ハ「増給」ノ誤

0976 0227

0977

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千五百十一號

海軍大臣官房

昭和八年四月二十一日(金)

○令 達

官房第一五〇五號ノ五

昭和八年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和八年四月二十一日

海軍大臣

臨時部細節科目

款	項	目	節	細節	會計科目 電信略號 略電 略信
艦艇製造費	補助艦艇製造費	驅逐艦	造兵費	第五十一號驅逐艦	二ニ Kanrai
				第五十二號驅逐艦	二シ Kanisi
				第五十四號驅逐艦	二ヒ Kanishi

海軍公報(部内限) 第千五百十一號

昭和八年四月二十一日

一六七

0977

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和八年四月二十一日 (金)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一七八一號

昭和七年度新造雜役船ノ船種、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和八年四月二十一日

海 軍 大 臣

船 種

公稱番號

所

屬

カッタ
(九米)

第七〇號

横須賀海軍航空隊

臨時附屬

墨田川造船所

横須賀海軍工廠

昭和八年三月二十日

定數別

製造所

契約納入場所

納入豫定日

備考

官房第一七八二號

昭和八年度新造雜役船ノ船種、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和八年四月二十一日

海 軍 大 臣

船 種

公稱番號

所

屬

定數別

製造所

契約納入場所

納入豫定日

備考

海軍公報 (部内限) 號外

0978

~~0229~~

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第千五百十二號

海軍大臣官房

昭和八年四月二十二日(土)

○ 通 牒

經豫第二四三號

本年經豫第二一九號昭和八年度滿洲事件費整理區分中
左ノ通改正シ昭和八年四月二十日ヨリ之ヲ適用ス

昭和八年四月二十日

海軍省 經 理 局 長

二、イ、俸給

(四)中「駐滿海軍部」ノ上ニ「旅順要港部、」ヲ
加ヘ

(六)中「第二遣外艦隊司令部附(同上)、」ヲ削除
シ

ハ、雜給及雜費

(二)中「第二遣外艦隊」ヲ削除シ同所ニ「旅順要
港部所屬」ヲ加ヘ

(三)中「駐滿海軍部」ノ上ニ「旅順要港部、」ヲ
加ヘ

ヘ、患者費

(四)中「駐滿海軍部」ノ上ニ「旅順要港部、」ヲ
加ヘ

ト、艦營費

(二)中「、第二遣外艦隊司令部」ヲ削除シ

(三)及(五)中各「駐滿海軍部」ノ上ニ「旅順要港部、」
ヲ追加ス

海軍公報(部内限) 第千五百十二號

昭和八年四月二十二日

一六九

0980 0231

(部 内 限)

海軍公報 (部内限) 第千五百十三號

昭和八年四月二十四日(月)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第九五一號ノ二

昭和七年官房第二三一六號中左ノ通改正ス

昭和八年四月二十一日

海軍大臣

但書中「及渤海沿岸(關東州沿岸及山東省沿岸ヲ除ク)」ヲ削ル

官房第一八三二號

昭和八年特別大演習中臨時編成部隊ノ參謀官又ハ副官ハ飾緒ヲ佩用スベシ

昭和八年四月二十四日

海軍大臣

官房第一五〇五號ノ六

昭和八年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和八年四月二十四日

海軍大臣

一般會計

款 項 目 解 疏 會計科目 電信略號

經常部 (海軍本省)(俸給) ×賞與

(軍事費)(俸給) ×賞與

作業會計

款 項 目 解 疏 會計科目 電信略號

海軍火藥廠作業費(俸給) ×賞與

×賞與

×賞與

×賞與

×賞與

海軍公報(部内限) 第千五百十三號

昭和八年四月二十四日

一七一

0981 0232

海軍燃料（俸給）
廠作業費

×賞與	シミ
-----	----

○通牒

經給第五〇號

昭和八年四月二十一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

戰時給與停止後ノ給與ニ關スル件通牒
 本月二十一日以後渤海沿岸ニ對シ戰時給與ニ關スル諸
 規定ノ適用ヲ停止セラレ候ニ付テハ昭和二年勅令第三
 十二號支那騷亂地方ニ在ル海軍軍人軍屬ニ増給ノ件ヲ
 復活適用セララル義ト承知相成度

○雜款

○書類各艦別送付ノ件依頼
 當隊來五月中旬ヨリ九月上旬ニ亘ル期間堪察加方面警
 備ノ爲派遣セシメラル豫定ニ有之候處其ノ間各艦ハ
 全ク分離行動ヲナスニ付五月十日以降八月末日迄從來

一併配布ヲ受ケタルモノハ凡テ各艦宛發送ノ事ニ御取
 計ヲ得度
 追テ所轄長宛ナルモ各艦ニ配布ヲ要スト認メラル
 モノハ寫ヲ各艦宛御送付ヲ得度
 （第四驅逐隊）

0982 0233

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千五百十四號

昭和八年四月二十五日(火)

海軍大臣官房

○令 達

官房第一八四八號

昭和八年特別大演習部隊編成中ノ職員ヲ仰付ケラレタル者ハ準備等ノ關係上必要已ムヲ得ザルモノニ限り部隊編成前赴任セシムルコトヲ得

昭和八年四月二十五日

海軍大臣

官房第一八四九號

准士官以上ニシテ本年特別大演習ノ爲臨時艦船部隊及特設艦船部隊ノ職員トナリタル者ノ海上又ハ航空勤務ノ計算ハ演習部隊編成ノ日ヨリ(本年官房第一八四八號ニ依任ノ日ヨリ、部隊編成後任命セラレタル者ハ辭令ノ日ヨリ)起算シ演習部隊編成解除ノ前日迄算入スル義ト心得ベシ

昭和八年四月二十五日

海軍大臣

○通 牒

官房第三號ノ二

昭和八年四月二十五日

海軍省 副官

關係各所屬長官殿

諸會議ニ關スル件中改正ノ件通牒

本年一月六日附官房第三號ヲ以テ訓令セラレタル諸會議ニ關スル件中參謀長會議ノ參列諸官中ニ左記ノ通牒加セラレ候條御了知相成度

記

參謀長會議參列諸官追加

旅順要港部參謀長

駐滿海軍部參謀長

(昭和八年一月六日海軍公報(部内限)參照)

海軍公報(部内限) 第千五百十四號 昭和八年四月二十五日

一七三

0983 0234

經物機密第四四號

昭和八年三月二十八日

海軍省經理局長
海軍航空本部長
海軍省軍需局長

各海軍經理部長
海軍航空廠長
海軍航空工廠長
廣佐世保海軍工廠長
各海軍軍需部長

航空兵器分割註文ニ關スル件通牒

首題ニ關シ左記ノ通決裁相成候條昭和八(會計)年度
整備長主管兵器ノ註文ニ關シテハ購買名簿ニ依ルノ外
左記ニ基キ購買實施相成度

記

昭和八年三月二十八日官房機密第五八六號決裁
昭和八年度註文飛行機機體、同部分品、發動機、同部
分品、冷却器、「プロペラ」、落下傘及救命具ハ昭和二
年官房機密第二二二號別冊部外秘海軍購買名簿ノ規程
並ニ會計法第三十一條第二項ニ依リ別表ノ通分割並ニ
隨意契約註文ノコトニ取計可然哉

(別表一葉添)

○辭令

○昭和八年特別大演習部隊編成中左ノ通被仰付

第四艦隊司令長官 海軍中將 永野 修身

第五戰隊司令官 海軍少將 藤吉 峻

第九戰隊司令官 同 鹽澤 幸一

第八戰隊司令官 同 後藤 章

第三潜水戰隊司令官 同 大野 寬

第四潜水戰隊司令官 同 野邊田 重典

第二航空戰隊司令官 同 河村 儀一郎

第一根據地隊司令官兼第一防備隊司令官 同 秋山 虎六

第四水雷戰隊司令官 同 植松 練磨

第四艦隊參謀長 同 原 敬太郎

第三水雷戰隊司令官 海軍大佐 日暮 豐年

(各通)

海軍大佐 宇垣 纏

海軍中佐 松山 光治

海軍少佐 末廣 由己

同 松本 毅

同 横井 俊之

第四艦隊參謀

0984 0235

第四艦隊副官	同	三好恒
第四艦隊司令部附	海軍大尉	今中薫
第四艦隊機關長	海軍機關大佐	片山清次
第四艦隊參謀	海軍機關中佐	今泉英三
第四艦隊軍醫長	海軍軍醫大佐	菅原佐平
第五戰隊參謀	海軍中佐	柴田彌一郎
第五戰隊機關長	海軍機關大佐	府錄東作
第五戰隊司令部附兼參謀	海軍機關少佐	柄崎基夫
第八戰隊參謀	海軍少佐	長谷真三郎
第八戰隊機關長	海軍機關大佐	石川謙
第八戰隊司令部附兼參謀	海軍機關少佐	田中義吉
第九戰隊參謀	海軍少佐	重永主計
第九戰隊機關長	海軍機關大佐	立花才次郎
第九戰隊司令部附兼參謀	海軍機關少佐	大貫治作
第三水雷戰隊參謀	海軍少佐	荒木傳
第三水雷戰隊機關長	海軍機關大佐	小西外男
第三水雷戰隊司令部附兼參謀	海軍機關少佐	釜田勇
第四水雷戰隊參謀	海軍中佐	小柳富次
第四水雷戰隊機關長	海軍機關大佐	田崎義
第四水雷戰隊參謀	海軍機關少佐	小山敏明
第三潛水戰隊參謀	海軍中佐	鍋島俊策
第三潛水戰隊機關長	海軍機關大佐	草川浩
第三潛水戰隊司令部附兼參謀	海軍機關少佐	後藤秀吉
(各通)	海軍少佐	小島秀雄
第四潛水戰隊參謀	同	長井武夫
第四潛水戰隊機關長	海軍機關大佐	山崎軍藏
第四潛水戰隊司令部附兼參謀	海軍機關大尉	黒田忠仁
第二航空戰隊參謀	海軍中佐	蒲瀬和足
第二航空戰隊機關長	海軍機關大佐	木梨律馬
第二航空戰隊司令部附兼參謀	海軍機關少佐	守弘作郎

海軍公報(部内限)第千五百十四號 昭和八年四月二十五日

一七五

0985 0236

海軍中佐 上阪 香苗
第一根據地隊參謀兼第一防備隊參謀

海軍機關中佐 山本 六助
第一根據地隊機關長兼第一防備隊機關長

第一航空隊司令 海軍大佐 山田 忠治
第二航空隊司令 海軍中佐 山口 三郎

同 柿本 權一郎
第二通信隊長兼第一無線電信所長(以上^{四十五}海軍省)

0986

~~0237~~

不開港場寄港免狀要領

(昭和八年四月二十五日公報別表)

番 號	船 名	國 籍	種 類	船主氏名國籍	船長氏名國籍	噸 數	網具ノ裝置	橋ノ數	同航ノ目的	航 路	寄 港 地 名	有 効 期 間	許 可 年 月 日
第一七號	大名號	英 國	帆 船	英國人ダブルユー、ダブルユー、キャンベル	同 右	七 噸	カツタ	一 本	娛 樂	大阪灣ヨリ瀬戸内海ヲ經テ大分縣ニ至ル各沿岸	兵庫縣 明石、高砂、八家、二見、飾磨、相生、坂越、岩屋、 榎原、尾ヶ崎、西ノ宮、住吉、須磨、舞子、網干、室 津、男鹿島、家島、西島、坊勢島、赤穂、那波、志筑、 野島、富島、那家、江井、新在家	自昭和八年五月十三日 至昭和九年五月十二日	昭和八年四月四日
第一八號	ソールナー號	同 上	同 上	英國人ジ、アール、ジャクソン	同 右	一 噸	パーマチアンカツター	同 上	同 上	兵庫縣 同 上	廣島縣 同 上 (但シ大崎上島ヲ加フ)	同 上	昭和八年四月五日

航行心得
(免狀裏面)

- 一 本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ各港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スベシ
- 二 本免狀ハ何時タリトモ當該官吏ノ求メニ應ジ其ノ検査ヲ受クベシ
- 三 本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スベカラズ殊ニ表面記載ノ各港間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ爲スベカラズ
- 四 毎航行ニ於ケル巡航日時ヲ豫定シ就航前本船所有者ノ住所ヲ管轄スル地方長官ニ届出ヅベシ巡航日時ヲ著シク變更シタルトキ亦同シ
- 五 毎航行ニ於ケル就航前本船各員及船員以外ノ乗員者ノ氏名、國籍、住所及職業ヲ前項ノ地方長官ニ届出ヅベシ
- 六 本免狀ニ記載セル船長ヲ變更セムトスルトキ又ハ船長以外ノ者ヲシテ其ノ職ヲ執ラシムトスルトキハ豫メ第四項ノ地方長官ニ届出ヅベシ
- 七 瀬戸内海ノ航行ニ付テハ大阪府佐野ト兵庫縣洲本、兵庫縣佛崎ト徳島縣栗田、愛媛縣長濱ト大分縣鶴崎、山口縣埴生ト福岡縣荊田ヲ結ブ線外ヲ航行スベズカラ
- 八 廣島縣附近ノ海面ニ付テハ五日市、津久根島及西能美島ノ西北端ヲ連スル線以東ニ立入り且早瀬及音戸ノ兩水道ヲ通過スベカラズ
- 九 本航行心得ニ違背スルトキハ直ニ特許ヲ取消スベシ
- 一〇 特許期間満了ノトキ又ハ特許ヲ取消サレタルトキハ直ニ第四項ノ地方長官ヲ通ジ本免狀ヲ返納スベシ
- 一一 本船ハ出帆前地方廳ノ検閲ヲ受クベシ又陸海軍ニ於テ必要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルベシ

0987 0230

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第千五百十五號

昭和八年四月二十六日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第八七一號

昭和八年特別大演習部隊編制中艦隊、戰隊司令部附タル特務士官、准士官、下士官及兵ハ左記ニ依リ之ヲ補充スベシ

昭和八年四月二十六日

海軍大臣

記

艦 隊	所 管	記 事
第四艦隊	鎮守府	第二戰隊司令部ハ之ヲ設置セズ
第五戰隊	吳	
第八戰隊	橫須賀	
第九戰隊	吳	

○通 牒

人事第一七一號

昭和八年四月二十日

海軍省人事局長

各鎮守府參謀長殿

艦隊、戰隊司令部附補充ニ關スル件申進

内令第三百三十八號ヲ以テ艦隊平時編制改定セラレ候處海軍下士官兵定員補充交代規則第三條ニ依ル補充ニ就テハ隊號ノ變更ニ拘ラズ本年十一月末日迄現狀通ト御了知相成度

海軍公報(部内限) 第千五百十五號

昭和八年四月二十六日

一七七

0989

0240

海軍公報 (部内限) 第千五百十六號

昭和八年四月二十八日(金)
海軍大臣官房

○令達

官房機密第六一五號ノ二
官房機密第六一五號訓令下士官、兵服役延期ニ關スル
件中左ノ通改正ス

昭和八年四月二十八日

海軍大臣

吳

計

一八〇	一、七二五	一、九〇五
六二〇	四、五二五	五、一四五

○通牒

官房機密第八六二號ノ二

昭和八年四月二十八日

關係諸員殿

國防費献金ニ關スル件通知

今般五月二十七日海軍記念日ヲ期シ國防費トシテ献金
ノ爲左記要綱ニ依リ廣ク部内有志(個人若ハ團體トシ
テ既ニ國防資金又ハ恤兵資金ニ献金シタル者ヲ除ク)
ヨリ献金ヲ募集セラルルコトト相成候條可然御取計相
成度

記

一、献金ハ左ノ標準ニ依ルコト

(イ) 高等官、准士官

(ロ) 下士官

(ハ) 兵

(ニ) 判任文官及雇員備人ハ隨意トスルモ醸出ノ場合ニ

ハ判任文官ハ下士官ニ、雇員備人ハ兵ニ準ズルコ

ト

二、醸金ハ航空機製造(狀況ニ依リ變更スルコトアル

醸金)ノ資ニ充ツルコト

三、醸金ハ昭和八年五月二十二日現在應ニ於テ醸出ノ

海軍公報(部内限) 第千五百十六號

昭和八年四月二十八日

一七九

0990 0241

コト

- 四、各廳ハ五月十日現在ニ就キ豫金豫定額ヲ昭和八年五月二十日迄ニ到達スル様海軍省經理局員岩成義三宛通牒(要スレバ電報)ノコト
- 五、右通牒ニ基キ豫金目錄ヲ作製昭和八年五月二十七日海軍記念日當日海軍大臣ニ呈上ス
- 六、豫金ハ各廳ニ於テ取纏メ海軍省經理局(振替口座東京四七六〇二番)ニ拂込ムコト
- 拂込ノ際振替貯金通知票ノ裏面通信文記載欄ニハ送金件名ノミヲ記入ノコト
- 七、豫金拂込ノ際豫出者金額氏名表(二通)ヲ作製シ海軍省經理局員岩成義三宛ニ送付ノコト

官房機密第八六二號ノ三
昭和八年四月二十八日

海軍省副官

關係各廳長殿

部内有志ノ國防費献金ニ關スル件申進
官房機密第八六二號ノ二ニ依ル首題ノ件ハ海軍記念日當日献納ノ意義ヲ大ナラシムル意味合ニ於テ當日迄ハ成ルベク部外發表ヲ差控ヘラルル様御配慮ヲ得度

特別大演習特設司令部事務取扱開始左ノ通
昭和八年四月二十五日

特別大演習統監部

特設司令部	事務取扱開始期日	場	所
赤軍第四艦隊司令部	五月一日	東京	水交社

○雜款

○郵便物發送先
第十五驅逐隊(藤、萩、薄、葛)宛
自今 吳

○正誤 (済)
本月十八日通牒欄經豫第二一九號二、イ、(六)、ハ、(一)及へ、(一)中各「上海」ノ下ニ「特別陸戰隊員」ヲ脱ス

0991 0242

(部 内 限)

義第一一〇號ノ二

昭和八年四月三十日

財團法人海軍義濟會長 谷 口 尙 眞

寄附行爲一部變更ノ件通牒

財團法人海軍義濟會寄附行爲中左ノ通變更ノ件昭和八年四月二十五日附ヲ以テ海軍大臣ノ許可有之候

第十九條中「海軍艦政本部第三部長」ヲ「海軍艦政本部第四部長」ニ「海軍艦政本部第四部長」ヲ「海軍艦政本部第五部長」ニ改ム

信第一一一號ノ二

昭和八年四月三十日

財團法人海軍信義會長 谷 口 尙 眞

寄附行爲一部變更ノ件通牒

財團法人海軍信義會寄附行爲中左ノ通變更ノ件昭和八年四月二十五日附ヲ以テ海軍大臣ノ許可有之候

第十七條中「海軍艦政本部第三部長」ヲ「海軍艦政本部第四部長」ニ「海軍艦政本部第四部長」ヲ「海軍艦政本部第五部長」ニ改ム